

継続をモットーに社会貢献 —株式会社 栄朋 創業45年—

企業概要

株式会社 栄朋は、1971年3月脱サラ、起業化時代の風の中で、先輩、後輩の二人で起業。前会社での経験を基に印刷物、贈答品等を扱い商売開始。スタートと共に常に新しい商品開発を検索している中、1983年に国内最初のクリアケース自動貼り機をあるヒントから考案。その貼り機、サックマシンを委託製造、塩ビケースの受注生産開始。以来クリアケースの品質向上を求め、抜き型の筋押し罫線の工夫＝SE罫線特許取得。貼り機の改善＝バーコード検査機、カメラ検査機、枚数検査装置の取り付け等様々な工夫。平成11年度のジャパンパッケージングコンベンションで通商産業大臣賞、日本包装技術協会のグッドパッケージング賞を受賞。平成28年には東京商工会議所様から30年の功績感謝状授かる。



表彰

商品開発

新しく次世代に継がれる商品造りの開発を進めている。SE罫線を使用した組立て簡単なワンタッチクリアケース、SE罫線2枚重ねで（マチ有り）自動貼りカーテンケース、同じ仕様でのスタンドPOP、卓上カレンダーケース、最近では組み立て式透明蓋箱（特許申請済み）考案。販売開始。



自動貼り1号機（33年現在も稼動中）

継続には！

お客様。協力会社と長期に渡るお取引の継続。従業員の永年勤続。対応、価格、品質、納期待遇、等に反省、改善工夫を心掛けている。



組み立て式透明身蓋箱（特許申請済）

BCP策定への取り組んだ理由

会社経営の根本として永年の継続を求めている。今回のBCPの案内を板橋区（担当小野田様）から、ある日突然電話で頂いた。売り込み電話が多くある中で注意深く聞き始めた。説明を受けている内にその趣旨が当社にとって大変重要な事柄だった。教えて頂きたい思い、その電話で指導をお願いした。東北地震の津波で魚介類の店を失った親戚が福島にいる。今も仮設住宅である。昨年秋頃ようやく仮店舗が開けたと弾んだ声で連絡をくれた。当社が地震、火事、何らかの災害、被害に遭遇した時を想像するとその立ち上がり心配である。継続がスローガンです。簡易型BCPは当社にとって願ってもない教えである。取り組まない訳にはいきません。



株式会社 栄朋
代表取締役
鈴木弥寿治氏

策定にあたり特に注力した点

従業員の帰宅方法、帰宅難民時の備え。同業者に緊急時の振りかえ生産委託、電源（動力）社内配線図の新規作成。最新型プレーカーへの取替え。資料の保管場所（耐火金庫）、従業員の家族構成と緊急連絡先の最新情報。お得意様、協力会社の全一覧表、受注品の記録データ、経理のデータバックアップ等

BCP策定の感想・効果

従業員の安全について。緊急時の帰宅対策、方法。緊急連絡先の最新情報・会社内の防災用品の整備、確認・取引銀行がBCP作成に取組みを知り感心された。同業者にBCPの概略を話したら教えて欲しいと頼まれた。まだまだ不備な点が沢山あるので、さらにBCPを学んで整備して会社の継続、地域貢献・社貢献に役立てるように努力を続けたい。



会社製品群（一部）

事業者情報	
事業者名	株式会社 栄朋
本社所在地	板橋区小茂根3-4-13
設立	1971年3月8日
資本金	1,000万円
従業員数	29名
代表者	鈴木弥寿治
Tel	03-3958-8043（代表）
E-mail	http://www.eiho.net